

「麻疹《HI》」報告遅延のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度の麻疹流行に伴い、標記項目の検査委託先より、検査試薬の原材料であるアフリカミドリザル血球の供給が不足している旨の連絡がございました。

そのため、下記期日以降にお預かりした検体につきまして、報告が遅延する可能性がございますので、取り急ぎご案内いたします。

また、本案内以降、下記の代替検査をご利用いただきますようお願いいたします。

誠に突然のことであり、お客様にはご不便をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

頁	項目コード	検査項目名
69	2665	麻疹《HI》〈血清〉
69	2666	麻疹《HI》〈髄液〉

■報告遅延対象受付日

●2016年9月10日(土)受付日分より

※上記期日以降にお預かりした検体につきましては、報告が遅延する可能性がございます。
なお、報告遅延が発生した場合は、弊社担当者より別途ご案内申し上げます。

■代替項目

頁	項目コード	検査項目名
69	2825	麻疹 IgM 《EIA》
69	2822	麻疹 IgG 《EIA》

※代替検査として、上記項目をご案内させていただきます。

なお、国立感染症研究所感染疫学センターから出されている『医療機関での麻疹対応ガイドライン(第六版:暫定改訂版)』では、麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法として、EIA法が推奨されています。また、赤血球凝集抑制法(HI法)は、EIA法より感度が低く、免疫の有無を検査する目的には推奨できないと記載されています。

以上